



Vol.260

# 厚高インフォメーション

## Atsuma High school Information



学校の取り組みをご覧ください。  
厚真高校ホームページ  
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

### ■進学・就職ガイダンス3年 (6月16日)

高校卒業後の進路は多様です。大学や専門学校などへの進学、民間就職、公務員など、各自が希望する進むべき道を歩み始めることとなります。今回は、進学希望コースと就職希望コースに分かれて学習しました。進学希望コースは、(株)リクルートの岩崎千恵さんを講師に招き実施。就職希望コースは、本校の進路指導主事である佐々木務行教諭が

講師を務めました。■防災避難訓練(6月25日) 防災避難訓練を実施しました。火災発生の場合で非常ベルが作動し、校内放送による避難命令で全校生徒が指示に従って避難しました。全員の安全を確認するまで、素早い行動でした。我孫子達也教頭は「避難する上で大切なことは、あせらない、あわてないこと。いざという時に冷静に落ち着いて行動しよう」と講評しました。引き続き、消火器の使い方や消火器を使った初期消火を体験しました。災害はいつでもどこでも起こります。自分の命、仲間の命を守る的確な行動ができるように今回の訓練を生かし、有事に備えたいと思います。

### ■防犯・薬物乱用防止教室 (7月2日)

苫小牧警察署生活安全課から西村俊貴さんを講師に招き、体育館で全校生徒が受講しました。講話やDVD鑑賞を通して、最近の犯罪の傾向や被害に遭わないための留意点を学びました。また、薬物

乱用の恐ろしさや正しい知識を深め、薬物などから身を守る意識や態度を身につけることの大切さを実感しました。生徒会長の高田紗希さんがお礼の言葉を述べて終わりました。■学校祭に向けた全校集会 (7月2日) 生徒会の生徒が企画しました。学校祭準備期間(7月5日~14日)を迎えるにあたり、生徒の意識の高揚を図り、規律正しい学校生活を送りながら充実した準備期間にするための集会です。生徒会の代表生徒が、プリントを配って準備期間中の諸注意を説明。各クラスの決意表明では、HR展示やクラスパフォーマンスのPRがありました。



防災避難訓練

## 短歌

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十五号」から抜粋

田の畦に青鷺七羽が並びをり魚かカエルを狙ひをるらし  
豊かなる新緑の厚真見せたくてスマ・ホのカメラで子らに送りぬ  
色々の苗買ひ込みて持ち帰り息子は我にかはり植糸こみをする

上野 宮崎静恵  
豊 沢 石橋道子  
本郷 湯浅悦子

## 厚真町地域おこし協力隊

起業型地域おこし協力隊

矢代 祐也さん (36歳)

着任 令和3年4月(1年目)  
出身地 千葉県



「事業内容を教えてください」「サブレッドマーケット」という競走馬の販売情報サイトを運営しています。厚真町および日高地方には競走馬の生産牧場が多くあります。そこに通って競走馬の写真、動画、PR文章など、取材した情報を掲載しています。

「競走馬に興味を持ったきっかけは？」  
競走馬育成のゲームにすごくハマってしまい、実際に競馬のレースを見るようになり、大学生のときにディープインパクトというすごく強い馬が登場して、本当にカッコいいなって思い、どうしても馬の世界に入りたいと思ったのです。

馬に関する研修を受け、その後牧場で馬の調教や育成、放牧の仕事に関わりました。なぜ、サブレッドマーケットを始めたのですか？  
馬の生産牧場数と生産頭数は、競馬のピークからだいぶ減っています。生産頭数が減ると強い馬が出にくくなる。競馬の世界が小さくなってしまつた。そこに問題意識を感じました。競走馬の流通を促進させるための情報発信であれば、自分は貢献できるのではないかと。生産者と消費者を情報提供によってつなげたいと思います。

「厚真町で仕事をしてみたいですか？」  
上厚真のシェアオフィスで仕事をしています。ネット接続を含め仕事の環境が整っています。近くに生産牧場があり、取材に行くにも便利が良

く、大変ありがたいです。これまで10力所くらいの牧場に取材に行き、何頭かの馬の情報を掲載させていただきました。

「おすすめの馬はありますか？」  
そうですね。一応、いるのですが、正直自分は馬を見る目は無いと思うので、自分の口からは「この馬絶対走るよ！」みたいなことは言わないようにしています(笑)。  
3年後への思いを聞かせてください  
競走馬の流通を通じて、競馬界の発展に貢献したいと考えています。少しでも多くの馬の魅力を伝えることによって、買い手がつき、生産者さんが安定して牧場経営できるように、協力できるようなってほしいと思います。

## 法務局メモ

### 登記・相続に関するQ&A

#### 遺言書の保管制度

Q 法務局で遺言書を預かってもらえると聞いたのですが本当ですか？

【問い合わせ】  
札幌法務局苫小牧支局 ☎0144-34-7151



法務省のホームページ  
(自筆証書遺言書保管制度解説)

A ご自分で書いた遺言書を法務局に保管できる制度が昨年7月10日から始まりました。

遺言書には、大きく分けて主に公証人が関与して作成し公証役場に保管する公正証書遺言と、自分で書いて自分で保管する自筆証書遺言があります。

このうち、自筆証書遺言は費用を要さず、遺言者本人だけで作成できるなど手軽で自由度が高い反面、遺言者の死亡後に相続人に発見されなかったり、発見した人が書き換えてしまうなど「保管」についての問題点が指摘されていました。

そこで、自筆証書遺言のメリットを損なわず、保管の問題点を解消するために、法務局で遺言書を保管する「自筆証書遺言保管制度」が開始されました。

法務局に保管することで、遺言書の紛失などが防止できるほか、遺言書の存在の把握が容易となり、「遺言者の最終意思の実現」や「相続手続の円滑化」を図ることができます。

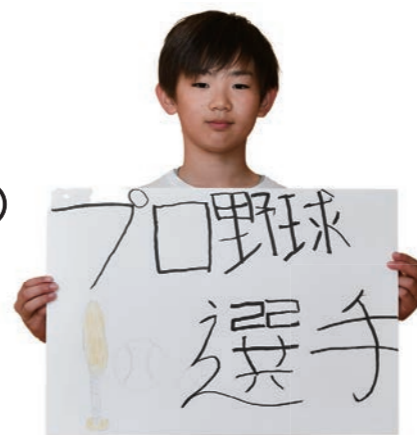
※法務局では、遺言の内容についての相談に応じることはできませんのでご注意ください。

## 発表します!! 将来の夢&目標

厚真中央小学校6年



おおこし 大越 りりいさん



こやま ゆうひ 小山 裕飛くん



さかい いっせい 酒井 一成くん



おがた みゆ 尾形 心優さん